

いちょうだより

2018年5月14日

天童中部小学校

校長 大谷敦司

昨日は、「モンテディオ山形 天童市民応援デー」の大宮戦でした。8,801人の大観衆の中、モンテディオ山形は1-1の引き分けでした。先週10日、そのモンテディオ山形からNo.14・MF 本田拓也選手とNo.15・DF 加賀健一選手のお二人が本校においでくださって『夢クラス』が行われ、6年生が参加しました。

その中で、子供たちが自分の夢、そして選手への御礼として下記のように発表しました。それぞれ本人の了承を得て掲載します。少し長くなりますが、子供たちの“夢”、すなわち今と未来のことを考えるには、とてもいい教材ですので、是非お読みください。



6年1組 今井 稜也 君

ぼくの夢は、漁師になることです。ぼくのおじいちゃんとお父さんも漁師をしているので、ぼくもその仕事を受け継ぎたいです。ぼくは、マグロやカニ、ホタルイカなどのおいしい魚をたくさんつって、世界中の人々がそれを食べて笑顔になってほしいと思っています。ぼくの家は船は、えびす丸です。代々受け継がれてきました。ぼくは第6代目を受け継いでお父さんやおじいちゃんにアドバイスを受けながら修業し、いっぱい魚をとりたいたです。

安心しておいしい魚を食べてもらうには、魚のことを勉強しないといけないと思います。高校を卒業したら、お父さんの船に乗って仕事を手伝いながら、魚のことや船の免許のことを学びたいと思います。そのためには、今から、まず、学校の勉強をがんばりたいです。もし分からないことがあっても、友達や先生に聞いたり、自分で調べたりして、解決することを出ていきたいです。おとなになっても自分で学んで、がんばれる人になりたいです。

6年2組 安藤 椋太郎 君

ぼくの将来の夢は、警察官になることです。どんな警察官になりたいかという、困っている人がいたらすぐに助けられる警察官です。困っている人を助けてあげたら、その人が幸せな気持ちになってくれると思うからです。警察官になったら、人助けをしたり、悪い人を取りしまったりして、みんなのために働く警察官になりたいと思っています。

夢をかなえるためにはまず、今のうちからたくさん勉強したいと思います。警察官になるためには、きびしい訓練もあると知ったので、丈夫な体をつくるために、運動もがんばりたいです。ぼくが、警察官になるために大事にしたいことは、どんなことにも立ち向かっていけるような心を持ち続けることです。だから、今、僕が苦手だと思うことにもチャレンジしていきたいと考えています。そんなことを考えながら毎日生活をしていき、頼りになる警察官を目指していきたいです。

6年3組 舟山 凱斗 君

ぼくの将来の夢は、ゲームプログラマーになることです。ゲームプログラマーになったらそのゲームを使う人が楽しめて、笑顔になれるゲームや、子どもから大人までみんなが楽しく遊べるゲームを作りたいです。そして、ぼくの作ったゲームが、日本だけでなく、世界中の人たちから遊んでもらえるようになったらいいなと思います。

ぼくは、「ゲームプログラマー」という夢をかなえるために「このゲームはどんな仕組みになっているのかな?」「みんなが楽しいと思えるところはどこかな?」ということをつつも考えるようにしたいです。

<裏面に続く>

また、夢をかなえるためには、パソコンにくわしくなければなりません。今から毎日の勉強をがんばっていききたいです。そして、プログラミングもくわしく学びたいです。この夢をかなえるためには、いろいろなことに目を向けることも必要です。なぜかという、いろんな年代、いろんな性格の人が楽しめるゲームを作っていきたいからです。自分の好きなものだけでなく、いろいろなことを学んだりするなどの努力をがんばって続けていききたいです。

6年4組 今野 勇夢 君

ぼくの将来の夢は、Jリーグで活やくして、J1のチームに入って、得点をいっぱい決めて、日本代表の選手になることです。J1では、強いチームや上手な人がいっぱいいると思うので、その中で自分の実力をのばしていきたいと思います。海外のトップチームにも行きたいと思います。そこでは、日本人よりも上手な人がたくさんいるので、その中で自分をためしてみたいです。

ぼくが、サッカー選手になるために、毎日の練習でプロ選手になるんだという気持ちを忘れないで練習や試合にのぞんでいきたいです。そして、今のうちから、自主練をしていって人一倍努力をしていくつもりです。そうやって、中学校・高校でも、チームから信頼されるような選手を目指してがんばりたいです。また、プロのチームに入ったら、チームはもちろん、ファンからも信頼されるプレーを心がけて、毎日の練習や試合に向かっていきたいと考えています。

こうした発表の後、加賀・本田両選手から、「夢を持つことは素晴らしい。しかし、それを叶えることはなかなか難しいこと。それでも、みんなは夢を叶える具体的なことまで考えているので、苦しいときも諦めずに努力を積み重ねて、いつか夢を叶えてください」というお話がありました。

最後に、6年生を代表して押野虎之介君が、次のようなお礼の言葉を述べて『夢クラス』を締めくくりました。

ぼくはこの会で、友達が将来に向けてえがいている夢、本田選手や加賀選手のメッセージを聞いて、「具体的な夢や目標をしっかりと持つこと。その夢に向かって自分ができることに精一杯取り組むこと。夢に向かって、ひたむきに努力し続けること」の大切さを学びました。

ぼくの将来の夢はまだぼんやりしていますが、大好きなサッカーを通していろいろな経験を積み、将来、自分がつきたい職業、かなえたい夢をはっきりさせていきたいと思いました。

今日はとても楽しかったです。選手の皆さんも、モンテディオ山形のJ1昇格に向けて、がんばってください。本当にありがとうございました。

学校は、子供たちが持っている夢を膨らませ、それが叶うように少しでもサポートしていく役割を担っているのだと思っています。

ご家庭でも、子供たちと「夢」の話をなさってみては、いかがでしょうか。

<当日の様子は、モンテディオ山形の公式ホームページにも掲載されています>

週末の19日は、8時55分から「授業参観・教育活動説明会・学級懇談会」、そして13時15分から「PTA球技大会」が行われます。ご来校をお待ちいたしております。

本校のホームページも随時更新していますので、ご覧ください。